

世界史

I 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答は解答用紙Bに記入すること。
なお、語群は本問の末尾にある。

16世紀から19世紀にかけて、ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカの間で [1] 貿易が成立した。その中核をなしたのは、アフリカから南北アメリカへ黒人奴隷を強制的に運んだ貿易で、イギリス経済の諸産業を発展させることとなった。黒人奴隷は労働力として、主に北米イギリス植民地では、タバコや綿花栽培を行う [2] で酷使された。イギリスとフランスは17世紀に、西インド諸島でいくつかの植民地を獲得し、 [3] 栽培を行う [2] 経営を発展させた。

1607年にロンドン会社によって建設された北米のイギリス植民地 [4] では、1619年に最初の黒人奴隷が到着し、その後、白人の年季奉公人にとって代わった。2019年には、その400周年を記念し、アメリカ社会における黒人奴隷制度の影響の遺産を検討しようとする「1619プロジェクト」が開始された。このプロジェクトは、黒人奴隷制度からアメリカ合衆国の歴史を捉え直そうとするものである。たとえばそれは、宗教弾圧を逃れてイギリスから北アメリカへ移住した [5] を中心としてアメリカ合衆国が建国されたという、古典的な建国神話と矛盾する面がある。そのため、本プロジェクトは、現代的な政治的論争となっている。

1775年から1783年までのイギリス13植民地と本国イギリスの間での戦争は、アメリカ独立革命とも呼ばれる。13植民地の代表により構成された連合組織である [6] によって1776年に採択された [7] や、1787年に採択された [8] が自由主義や革命権などに基づく市民革命の性格をあわせ持つとされるからである。アメリカ独立革命にフランスやスペインが参戦し13植民地の側に立ったことによって、13植民地は次第に優勢となった。そして、イギリスは1783年の [9] で13植民地の独立を承認した。

一方、フランスの国家財政はこの参戦によってさらに圧迫され、国王 [10]

は財政改革を試みた。しかし、絶対王政末期の矛盾に対する反発が起こり、人々のなかに社会改革の気運が高まり、フランス革命が起こった。アメリカ独立革命に義勇兵として参戦した [ⓑ] は、1789年8月26日、国民議会によって採択された の起草に携わった。

フランス革命の影響はラテンアメリカにも広がった。17世紀末にフランス領となり、サン＝ドマングと呼ばれていたカリブ海のイスパニョーラ島西部では、18世紀末から独立運動が起こり、1804年に黒人共和国 が成立し、独立と同時に黒人奴隷制が廃止された。イギリスでは1807年に奴隷貿易停止法が成立するなど奴隷制廃止への動きが高まっていたが、アメリカ合衆国やブラジルでは黒人奴隷制を維持しようとする勢力が警戒を強めることとなった。ラテンアメリカでの貿易の中心地であったベネズエラとアルゼンチンが独立運動を主導し、19世紀にはラテンアメリカ地域では多くの国々が独立することとなった。

ⓒ

問 1 空欄 に入る語を語群から選び、記しなさい。

問 2 空欄 に入る語を語群から選び、記しなさい。

問 3 空欄 に入る語を語群から選び、記しなさい。

問 4 空欄 に入る植民地を記しなさい。

問 5 空欄 に入る語を語群から選び、記しなさい。

問 6 空欄 に入る組織名を記しなさい。

問 7 空欄 に入る語を記しなさい。

問 8 空欄 に入る語を語群から選び、記しなさい。

問 9 空欄 に入る条約名を記しなさい。

問10 空欄 に入る当時のフランス国王名を記しなさい。

問11 空欄 に入る語を語群から選び、記しなさい。

問12 空欄 に入る語を記しなさい。

問13 空欄 に入る国名を記しなさい。

問14 下線部①～③の一連の変革運動が、①をへて②や③に至った過程である「 革命」として把握する見解があるが、空欄 に入る語を語群から選び記しなさい。

問15 下線部④について、ラテンアメリカ独立運動の指導者であり、ベネズエラの独立革命に参加し、1819年に大コロンビア共和国(ベネズエラとコロンビアからなる)を樹立して大統領となった人物の名前を記しなさい。

語群

アメリカ合衆国憲法 アメリカ連合規約 ヴェルサイユ条約
カトリック カリブ海 毛皮 香辛料 鉦山 コシューシコ
サトウキビ 三角 大西洋 太平洋 トマト ピューリタン
プランテーション ラ＝ファイエット ラス＝カサス

II 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答は解答用紙Aにマークすること。

2013年、欧州委員会のバローゾ委員長は「音楽の都」ウィーンにおいて、「オペラほどヨーロッパ的なものは存在しない」と述べている。この発言には、当時通貨危機によってヨーロッパ連合(EU)の加盟国間で対立が表面化していたこともあり、⁽¹⁾ 文化的な共通性を強調しようとする意図がうかがえるが、けっして根拠のないことではない。

オペラの起源は16世紀末、ルネサンスの中心地であったイタリアで、古代ギリシャ悲劇を範とした歌唱演劇にさかのぼる。以降しばらくオペラといえばイタリアという時代が続くが、18世紀になると、フランス、スペイン、ドイツ、イギリスなどヨーロッパ諸国では、独自のオペラ、あるいはオペラ的なジャンルも発展することになり、『フィガロの結婚』や『魔笛』などで有名な 3 のように、交響曲とともにオペラ作品も手掛ける作曲家も出てくることになる。

これと並行して、著名な歌劇場も各地に設立、あるいは拡充された。たとえば、ナポリのサン・カルロ劇場はブルボン朝ナポリ王国の国王によって1737年に建設され、⁽⁴⁾ イタリア最高峰のオペラ劇場ともいわれるミラノのスカラ座は1778年、焼失した以前の劇場が再建される形で造られた。ほかにも、ロンドンのロイヤル・オペラ・ハウス(コヴェント・ガーデン)や、ルイ14世のもとで財務総監であった 5 の口利きで設立されたパリのオペラ座、プロイセン国王フリードリヒ2世の命によって建造されたベルリンの宮廷歌劇場(現国立歌劇場)などが挙げられる。⁽⁶⁾

こうしてヨーロッパに広がったオペラであったが、19世紀半ばにおけるナショナリズムの高まりとも無縁ではなかった。たとえば、19世紀前半、ロシアの作曲家ミハエル・グリンカは、17世紀を舞台とし、ロマノフ朝初代の皇帝ミハエル・ロマノフがポーランド軍によって窮地に陥ったところを農夫イヴァン・スサーノフが命がけで救うという物語の歴史オペラ『皇帝に捧げた命』を製作し、大きな成功をおさめた。ロシアとポーランドの民族的相違を強調するこの作品はロシア人の愛国心を刺激し、19世紀後半にはこの作品が上演されると、興奮したモスクワの観衆⁽⁷⁾

が「くたばれポーランド」と叫び、舞台に押し寄せるといった光景もみられたという。

また、19世紀のオペラの隆盛を代表する作曲家の一人であるドイツ人ワグナーは、プロイセン・フランス戦争時のフランスの混乱を風刺した作品『降伏』を発表した⁽⁸⁾こともあり、パリではその後20年近くにわたって、彼の作品の上演がボイコットされた。これに対し、ドイツの首都ベルリンでは、フランスの作曲家サン・サーンスの作品が同様の扱いを受けるという意趣返しが行われた。一方、同じ1813年生まれであるワグナーとならんで、19世紀を代表するオペラ作曲家であったヴェルディは、ワグナーとは異なり1848年革命の運動に直接かかわることはなかったが、1849年1月共和制が宣言されたローマで上演された愛国的オペラ『レニャーノの戦い』は、観衆を熱狂させた。こうしたことから、ヴェルディはイタリア統一を文化的に象徴する人物とみなされ、サルディニア王国の首相であり、イタリア王国でも初代首相となった 9 の強い勧めもあり、イタリア王国の国会議員となったが、実際に政治活動はほとんど行わなかった。1871年には、エジプト総督イスマイル＝パシャの依頼によりヴェルディが製作した、古代エジプトを舞台とする『アイダ』がカイロのオペラ劇場にて初演された。

『アイダ』は国際的な成功をおさめ、2年後の1873年には、ラテンアメリカの代表的なオペラ劇場であるアルゼンチンの首都ブエノスアイレスのコロロン劇場(コロンプス劇場)においても上演されており、20世紀にはいると日本でもロシアの歌劇団によって上演されている。このように、ナショナリズムの高まりの一方で、レパートリーの交流や、音楽監督の役割が高まってくると、20世紀が進むにつれ「ヨーロッパ・スタンダード」と呼ばれるものが形成され、世界に広まっていくようになった。その1つとして、上演される場所の言語に翻訳されたうえで上演するというそれまで主流であった慣習が、オリジナルを含む多言語で上演されるようになったことが挙げられる。これは、1883年に開設されたニューヨークのメトロポリタン劇場に始まり、その支配人であったモーリス・グラウがその方法を同じく支配人を務めていたロンドンのコヴェント・ガーデンにも採用し、さらにそこからヨーロッパ大陸諸国へと広がっていったという。すなわち、ヨーロッパ文化としてのオペラの形成には、アメリカも一役買っていたといえるであろう。

問 1 下線部(1)について、この組織が設立されることになった条約を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① ローマ条約
- ② マーストリヒト条約
- ③ ジュネーヴ条約
- ④ ロンドン条約

問 2 下線部(2)について、古代ギリシャ悲劇の作者を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① トウキディデス
- ② ヒッポクラテス
- ③ アイスキュロス
- ④ ヘラクレイトス

問 3 空欄 に入る人名を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① モーツァルト
- ② バッハ
- ③ ベートーヴェン
- ④ ヘンデル

問 4 下線部(4)について、この王国は当時ブルボン朝の君主のもと、シチリア王国と同君連合の関係にあったが、ナポレオンのフランスによる支配をへて、両シチリア王国に統合される。ナポリ王国がフランスの支配を脱し、ブルボン朝の君主が復位することを認めた国際会議の開催地を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① ウェストファリア
- ② ユトレヒト
- ③ アミアン
- ④ ウィーン

問 5 空欄 に入る人名を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① ロベスピエール
- ② ネットケル
- ③ リシュリユール
- ④ コルベール

問 6 下線部(6)の人物の行ったことを述べた文を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① ロシア、スウェーデンとともに、ポーランドを分割した。
- ② ドイツ関税同盟の結成を主導した。
- ③ オーストリアからシュレジエン地方を奪取した。
- ④ 農奴を解放し、工業化を推進した。

問 7 下線部(7)に関連して、19世紀後半のロシアにかんする出来事を述べた文として誤っているものを、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 自由主義貴族たちによるデカブリストの乱がおこったが、鎮圧された。
- ② シベリア鉄道の建設が始まり、極東への進出が本格化した。
- ③ ナロードニキによる民主化運動は、皇帝暗殺などのテロ活動もあり、政府によって厳しく弾圧された。
- ④ 独立を求めるポーランド人が蜂起したが鎮圧され、専制政治が復活した。

問 8 下線部(8)にかんする文として誤っているものを、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① この戦争の直接の原因となったのは、スペイン王位の継承問題であった。
- ② この戦争の結果、プロイセンを中心とする北ドイツ連邦が結成された。
- ③ この戦争でフランスの皇帝ナポレオン3世が捕虜となり、第二帝政が崩壊した。
- ④ この戦争の結果、フランスからドイツにアルザス・ロレーヌが割譲された。

問 9 空欄

9

 に入る人名を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① マッツイーニ
- ② ムッソリーニ
- ③ ガリヴァルディ
- ④ カヴェール

問10 下線部(10)に関連して、19世紀のエジプトにかんする出来事を述べた文を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 総督となったムハンマド＝アリーは、ナイル川全域をエジプト領と主張し、スーダンを征服した。
- ② ギリシャ独立戦争に際して、ギリシャ側に立って参戦し、オスマン帝国と敵対した。
- ③ スエズ運河を開削したが、国家財政が破綻し、フランスに運河の管理権を譲渡した。
- ④ イギリスは、ウラービー＝パシャを支援して、彼を首班とする親英政権を樹立した。

問11 下線部(11)に関連して、19世紀のラテンアメリカについて述べた文を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① アメリカ合衆国は、モンロー宣言によってラテンアメリカに対するヨーロッパ諸国の武力介入に反対した。
- ② ブラジルは、ナポレオン戦争を逃れたスペインの王子によって、本国から独立した帝国となった。
- ③ 1810～1820年代におけるラテンアメリカ諸国の独立の主力となったのは、先住民とスペイン人の混血であるクリオーリョであった。
- ④ メキシコでは、ディアスが大統領となり自由主義改革を実施したが、地主や教会勢力は激しく抵抗し、内戦となった。

問12 下線部(12)に関連して、1880年代から1890年代にかけてのアメリカ合衆国について述べた文として誤っているものを、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 工業化の進展とともに、貧富の差が社会問題となり、アメリカ労働総同盟が結成された。
- ② 中国人労働者の移入を阻止するため、「中国人排斥法」が制定された。
- ③ ジャクソン大統領によって、「強制移住法」が制定され、先住民から土地が奪われた。
- ④ アメリカ・スペイン戦争に勝利し、カリブ海域においてプエルトリコを獲得した。

Ⅲ 次の文章(A)，(B)を読み，以下の問いに答えなさい。解答は解答用紙Aにマークすること。

(A)

清朝最後の皇帝・愛新覚羅溥儀は，のちに満州国皇帝となり，第二次世界大戦後は戦犯として収容所で9年間を過ごした。以下の(a)～(c)は，収容所において書かれた自伝『わが半生』(小野忍・野原四郎・新島淳良・丸山昇訳，筑摩書房。一部改変を加えた箇所がある)からの抜粋である。

(a)

1906年，清朝の光緒32年の旧暦正月14日，私は北京の醇王府に生まれた。(中略)私が3歳の年の旧暦10月20日，慈禧太后〔西太后〕と光緒帝⁽¹⁾の病いが篤くなると，慈禧太后が急に私を次の皇帝に立てて，同治帝⁽²⁾(慈禧の実子である載淳のこと。光緒帝の父方のいとこにあたる)のあとを継がせ，同時に光緒帝のあとを継がせることに決めた。私が宮城にはいつのち2日の間に，光緒帝と慈禧とは前後して世を去った。そこで11月9日，私は即位して皇帝—清朝の第10代で最後の皇帝の位につき，年号は宣統となった。それから3年もたたぬうちに辛亥革命⁽³⁾が勃発して私は退位した。私の記憶は退位のとくに始まる。(中略)私はわけがわからぬままに3年間皇帝をつとめ，またわけがわからぬままに退位した。

(b)

もともと民・清両軍の和平交渉において，袁世凱は一貫して共和制の実施に反対し，立憲君主制⁽⁴⁾を断固として主張していた。彼は(中略)清朝皇室にたいする曇りなき忠誠心を披瀝し，「決して孤児と寡婦(私と太后をさす)〔溥儀と，光緒帝の皇后であった隆裕太后のこと〕に背くことはしない」と言ったのである。彼が北京に来たばかりのころのことだが，民衆が辮髪⁽⁵⁾を自由に切ることを許す上諭が発布された日，朝廷から退出する道で，世統〔清朝の大臣の一人〕が自分の頭のうしろの辮髪をさして笑いながらこうたずねた。「大兄，あなたはこれをどうなさるおつもりですか」彼はやはり厳肅な顔で答えた。「大兄，御安心ください。私はまだ

これになかなか未練がありましてね。なんとかして残したいと思っております」このため袁世凱に不信を示していた人びとも非常に喜び、「袁公はだいじょうぶ絶対に曹操にはならない」と言ったのである。

(6)

(c)

隆裕太后は私の退位の詔を發布した。(中略)私はといえば、大総統⁽⁷⁾の隣人になり、清室優待条件にもとづいて、小朝廷の生活を始めたのだった。(中略)「優待条件」にいられていた「暫時宮中に居住する」という条項には、具体的な期限を定めていなかった。紫禁城⁽⁸⁾のなかは、三大殿〔保和殿・中和殿・太和殿〕が民国のものとなったほかは、すべてが「宮中」の範囲に属した。私は、民国 13 年⁽⁹⁾〔1924 年〕、国民軍によって追い出されるまで、ずっとこの小天地に住み、この世でもっともばかげた少年時代を送った。ばかげたというのは、中華民国と称し、人類が 20 世紀にはいつているのに、私は依然としてまったく昔のままの帝王生活を送り、19 世紀から残されたほこりを吸っていたからである。(中略)こういう優待条件がいつまでも続くとは信じなかった。そのみか、私はだれよりも自分の境遇に危険を感じていた。(中略)歴代の最後の皇帝の末路を私は思い出していた。殷の湯王が夏の桀王〔夏の最後の王とされる〕を南巢に放逐し、殷の紂王〔殷⁽¹¹⁾の最後の王〕が鹿台にみずから焼死し、犬戎が幽王〔西周の最後の王〕を驪山の麓に殺した昔から、朱由檢⁽¹²⁾〔明の最後の皇帝〕が煤山で首をくくった例にいたるまで、私ほどこのような歴史に詳しい者はいなかったのである。

小野忍・野原四郎・新島淳良・丸山昇訳

問 1 下線部(1)について、光緒帝が帝位についていた 1875 年から 1908 年までにおきた事件でないものを、次の①～④から 1 つ選びなさい。

- ① 義和団事件 ② 日清戦争 ③ アロー戦争 ④ 清仏戦争

問 2 下線部(2)について、「同治の中興」といわれる相対的に安定した時代に、洋務運動を推進した漢人官僚を、次の①～④から 1 つ選びなさい。

- ① 王安石 ② 司馬光 ③ 董仲舒 ④ 左宗棠

問 3 下線部(3)について、辛亥革命に関連する事件が、時期の早いものから、正しい順で並んでいるものを、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 幹線鉄道国有化政策の発令 → 四川暴動 → 武昌蜂起
- ② 四川暴動 → 幹線鉄道国有化政策の発令 → 武昌蜂起
- ③ 幹線鉄道国有化政策の発令 → 武昌蜂起 → 四川暴動
- ④ 四川暴動 → 武昌蜂起 → 幹線鉄道国有化政策の発令

問 4 下線部(4)について、康有為の弟子で、戊戌の変法の挫折後に日本に亡命し、立憲君主制の立場から革命派と激しい論戦を展開した人物を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 林則徐 ② 張居正 ③ 梁啓超 ④ 李鴻章

問 5 下線部(5)について、満州人の風習であった辮髪は、服従の証明として漢人男性に強制されたものであり、清朝打倒を目指した太平天国は辮髪を禁止した。太平天国について、誤っているものを次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 洪秀全を指導者としていた。
- ② 纏足を奨励した。
- ③ 「滅満興漢」を掲げた。
- ④ 首都を天京と称した。

問 6 下線部(6)について、曹操は魏王となって実権を握り、後漢はやがて滅亡に至った。曹操がそれを鎮圧するなかで勢力を伸ばした、後漢末の乱を、①～④から1つ選びなさい。

- ① 黄巾の乱 ② 紅巾の乱 ③ 赤眉の乱 ④ 黄巢の乱

問 7 下線部(7)について、これは紫禁城の西側にある中南海に大總統府を置いた袁世凱を指している。袁世凱にかんして述べた文として、誤っているものを、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 日本から二十一カ条の要求をつきつけられた。
- ② 帝政復活を宣言した。
- ③ 「連ソ・容共・扶助工農」を掲げた。
- ④ 李鴻章の軍の基盤を継承し、北洋軍を掌握した。

問 8 下線部(8)について、南京から北京に都を遷して紫禁城を築いた、明朝第三代の皇帝を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 正統帝 ② 万曆帝 ③ 永楽帝 ④ 洪武帝

問 9 下線部(9)について、1920年代の世界情勢として、誤っているものを、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① ソ連で第1次5カ年計画が開始された。
- ② ドイツが国際連盟に加入した。
- ③ アメリカ大統領ハーディングの提唱でワシントン会議が開かれた。
- ④ 日独伊三国同盟が成立した。

問10 下線部(10)について、中華民国時代の事件が、時期の早いものから、正しい順に並んでいるものを、次の①～⑥から1つ選びなさい。

- ① 五・三〇事件 → 八・一宣言 → 五・四運動
- ② 五・三〇事件 → 五・四運動 → 八・一宣言
- ③ 五・四運動 → 五・三〇事件 → 八・一宣言
- ④ 五・四運動 → 八・一宣言 → 五・三〇事件
- ⑤ 八・一宣言 → 五・四運動 → 五・三〇事件
- ⑥ 八・一宣言 → 五・三〇事件 → 五・四運動

問11 下線部(11)について、殷にかんして述べた文として、誤っているものを、次の

- ①～④から1つ選びなさい。
- ① 王は占いなどによって神意を問い、その結果によって国事を決定した。
 - ② もともと渭水流域におこり、鎬京を都としていた。
 - ③ 複雑な文様をもつ青銅器がさかんに用いられた。
 - ④ 殷墟では、甲骨文字を刻んだ大量の亀甲・獣骨が発見された。

問12 下線部(12)について、崇禎帝と呼ばれるこの皇帝を自殺に追い込み、明朝を滅亡させた反乱軍の指導者を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 李世民 ② 李時珍 ③ 李元昊 ④ 李自成

(B)

エドガー・スノーは、1936年に中国陝西省北部のソヴィエト地区に入り、3ヵ月にわたって、欧米の新聞記者として初めて中国の共産主義勢力について取材した。以下の(a)～(c)は、スノーの著書『中国の赤い星』(松岡洋子訳、筑摩書房。一部改変を加えた箇所がある)中の、毛沢東が自らの半生について語った部分からの抜粋である。

(a)

私は1893年、湖南省湘潭県の韶山村で生まれました。(中略)両親とも農民出身です。私は一家の“学者”⁽¹³⁾でした。経書は知っていましたが嫌いでした。私が好きだったのは、古代中国の伝奇小説で、とりわけ謀叛の故事でした。まだ幼少のころ、私は、岳飛伝(精忠伝)⁽¹⁵⁾、水滸伝⁽¹⁶⁾、隋唐演義、三国志、西遊記(七世紀の唐僧玄奘の印度旅行にまつわる伝説に取材)⁽¹⁷⁾を読みましたが、私の老先生はこれらの禁書を嫌い、邪悪だといって、読ませまいとしたものです。これらの本をいつも学校で読み、先生が側を通る時には経書を上にのせてかくしました。

(b)

1921年5月、私は共産党の創立大会に出席するために上海⁽¹⁸⁾へ行きました。こ

の組織で指導的な役割を演じたのは陳独秀⁽¹⁹⁾と李大釗⁽²⁰⁾であり、両者とも中国の最も聡明な知識人指導者でした。国立北京大学で図書館の副司書をしていた私は、李大釗のもとで急速にマルクス主義⁽²¹⁾の方向に成長し、また陳独秀も、私の関心をその方向にむけるのに力となってくれました。(中略)一方、フランス⁽²²⁾で苦学生の多くが中国共産党を組織し、その創立は中国での組織の開始とほぼ同時でした。

(c)

長征⁽²³⁾は1934年10月、蒋介石⁽²⁴⁾が最後の討伐戦を展開したちょうど一年後に開始されました。その1年間は殆ど絶え間ない戦闘と闘争の年であり、双方がおびただしい損害をこうむったのです。1935年1月には紅軍の主力は貴州省の遵義に到着しました。ひきつづく四ヵ月間部隊は殆ど絶え間なく移動し、最も精力的な戦闘と交戦が行われたのです。数多い困難をくぐりぬけ、中国の最も長く、深く、危険な河のいくつかを渡り、強暴な原住民のいる地方を通過し、何もない草原を通り、寒さと酷暑に耐え、風と雪と暴雨の中を進み、中国の白軍の半数に追跡されつつ、これら自然の障害のすべてを耐えぬき、広東、湖南、広西、貴州、雲南、西康、四川、甘肅、陝西各省の地方軍と戦いぬいてきた紅軍はついに1935年10月陝西省北部に到達し⁽²⁵⁾、中国の大西北における根拠地を拡大したのです。

問13 下線部(13)について、湖南省出身の曾国藩が、太平天国と戦うために郷里で組織した義勇軍を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 淮軍 ② 捻軍 ③ 国民革命軍 ④ 湘軍

問14 下線部(14)について、「経書」とは儒教の最も基本的な教えをしるした書物だが、経書のうち四書に含まれるものを、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 『孟子』 ② 『詩経』 ③ 『春秋』 ④ 『易経』

問21 下線部(21)について、マルクスの親友・同志であり、『共産党宣言』をともに発表した人物を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① トロツキー ② レーニン ③ エンゲルス ④ プルードン

問22 下線部(22)について、鄧小平はフランス留学中に中国共産党に入党し、ヨーロッパで活躍していた。文化大革命終了後に、鄧小平を中心とした指導部が実施した政策でないものを、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 国営企業の独立採算化
② 農村での人民公社設立
③ 外国資本・技術導入による開放経済
④ ソ連との関係改善

問23 下線部(23)について、長征の出発点となった、中華ソヴィエト共和国臨時政府のおかれていた江西省の都市を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 南 京 ② 武 漢 ③ 重 慶 ④ 瑞 金

問24 下線部(24)について、蔣介石にかんして述べた文として、誤っているものを、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 第二次大戦後、内戦にやぶれて台湾に渡った。
② 1927年に上海クーデタをおこして、共産党を弾圧した。
③ 井崗山に根拠地を築いて、勢力を拡大した。
④ ローズヴェルト、チャーチルとカイロ会談をおこなった。

問25 下線部(25)について、これ以降、共産党が拠点とした、陝西省北部の都市を、次の①～④から1つ選びなさい。

- ① 天 津 ② 濟 南 ③ 延 安 ④ 青 島